

地域支え合い推進事業の取組について

～生活支援コーディネーターの活動状況～

平成27年10月～	コミュニティ協議会役員会	民児協定例会	
	地区社会福祉協議会研修会	自治会等地域住民への説明会	
	出前講座	その他協議・打合せ等	
	平成27年10月～3月	説明会144回 協議・打合せ等218回	
平成27年12月	庵治地区地域福祉ネットワーク会議(第二層協議体)設置		
平成28年 3月	香南地区		
平成28年 4月	香西地区		
平成28年 5月	太田地区	西植田地区	
平成28年 6月	川岡地区	松島地区	
平成28年 7月	屋島地区	女木地区	下笠居地区
平成29年 8月	古高松地区	大野地区	太田南地区(予定)
平成29年 9月	8地区(設置予定)		

計21地区(設置予定を含む)

地域福祉ネットワーク会議の役割

- ・5年後・10年後を見据えた支え合いのまちづくりの検討
- ・地域の課題、ニーズの把握
- ・福祉活動拠点、活動団体等の地域資源の把握
- ・情報交換、情報共有
- ・生活支援サービスの体制整備、担い手の養成 など

生活支援コーディネーターの役割

- ・地域の情報収集・提供、会議資料作成、企画提案など、
地域福祉ネットワーク会議の運営を支援

各地域の説明会等で出された主な課題

- ・若い人がいなくなり、一人暮らし高齢者が急増している
- ・認知症高齢者が増加している
- ・空き家が増加している
- ・公共交通機関がない、あっても便数が少なく使えない
- ・スーパー等が遠方で買い物に困る
- ・自治会加入率が減少している
- ・高齢になり役員ができないので自治会を脱退する人が増えている
- ・高齢者が集まる場所がない。特に男性高齢者の社会参加が少ない
- ・マンション等集合住宅に住んでいる高齢者の把握がしづらい
- ・地域の高齢者を支えようとしても、個人情報壁がある
- ・担い手が少ない
- ・近くに病院がない

庵治支援隊

～住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けるために～



ネットワーク会議立ち上げまで

- ① 高松市民生委員児童委員連盟常任理事会で、市社協地域包括ケア推進室から、地域包括ケアシステムについて説明
- ② 地区コミ協の役員会で、市社協地域包括ケア推進室の生活支援コーディネーターが説明
- ③ 地区コミ協健康福祉部会でやれないか、という話も出たが、地区内協議の結果、地区社協が中心となって進めることになった



ネットワーク会議立ち上げまで

④ 地区社協役員会で、生活支援コーディネーターが説明

⑤ 庵治地区ネットワーク会議のメンバー選出

地区社協、地区民児協、地区コミ協、連合自治会、
地区福祉委員、地区人権擁護委員、地区婦人会、
地区体協、地区食生活改善推進協議会、
地区老人クラブ連合会、老人介護支援センター



第1回庵治地区ネットワーク会議

平成27年12月22日

- ①「わが町こんなとこシート」の説明
- ②グループワーク「地域のええとこ・いかんところ」



第1回グループワーク 「地域のええとこ・いかんとこ」



地域のええとこ

＜いいとこ＞

- 景色がすばらしい
- 自然災害が少ない
- 魚がおいしい(庵治漁港)
- なじみの関係
- 人口の流動が少ない
- 子供達がよくあいつてくれる
- 高齢者率は高いが元気
- セウにほられる庵治町がある
- 認知月曜あじさい会の活動が活発
- 祭り(夏)がさかん。締太鼓・庵治踊り保存会
- 花火がすばらしい
- 住民同志の声かけ
- 健康作り教室の出勤でしかりアピニル
- 石の展示作品が多い
- 入学記念の石碑作り

地域のええとこ

- 老人会が解散して、自主的に集まる。
- 隣同士と声かけやすい。
- 一歩外へ出る車は少なくて済む
- 自治加入率がよんで会合しやすい。
- がまん強い人が多い。
- 家のことが他、に分かりやすい
- 若い世代は、頼まれたら人の世話をしてくれる。保老に頼むと職員が来る
- 一人暮らしは、付いておいてくれる
- 独居高齢者には家族がいる
- 場合がある。若い世代が田畑の管理に困る。
- 空き地・空き家が^{家とほせか}多い。事情がある
- 働く場所有りが少ない。高、人達つなま
- あじの方は、高齢になると町外へ出る。とめれない

地域のいかんところ

< いかんところ >
 ・ まわり(秋)集まりが少くない。
 ・ 都会に出ていると帰って(若い人↓)少ない。
 ・ 特養に×る。 不安
 ・ 企業が少くない
 ・ 交通の便が悪い
 ・ 小中学の子供が少ない (無くなると出張所を
 持て来してほしい)
 ・ 庵治半島の反対側に病院がない。
 ・ 景気が良くなるのが遅い。 空家が多い
 ・ イノシシ被害。
 ・ 耕作放棄地が多い

地域のいかんところ
 ・ 事務が多くと老人会が解散している。
 ・ 隣同士とあまり合わない。
 ・ 他地区から人が来た。
 公共交通機関がない
 ・ 町に住んでいると山側まで不便の
 差がある。 場所には利用(7分)
 (規定があるため)
 交通マシ が必要
 周りの目を気にして遠慮深
 ・ 若い世代が地域の人と
 あまり交流しない。 総合センターに
 (保健センターから市職員が
 いる)
 ・ 若い世代の声が少ない。
 ・ 独居高齢者の支援に不安あり
 ・ 家族と同居しているも日中独
 居になっている。 家族が話さず人との

第2回庵治地区ネットワーク会議

平成28年1月29日

①「わが町こんなとこシート」の修正

②グループワーク

「こんなお手伝いをしているよ・
こんなあったらいいな」



今こんなお手伝いをしているよ 聞いているよ

① 今こんなお手伝いをしているよ。
" 聞いているよ

- 居場所作りで聞いている
- 老人会で聞いている。
- 親せきがフォローしている

声かけをしている。(独居の人)

- 認知予防の体操などしている。
- 友達が病院に連れて行っている。

近所の人を見守り

- 会堂で認知症予防などの食事を作っている
- たんぽぽ会 (ラジオ体操、しょう歌) など

① 今こんなお手伝いをしてるよ。
" 聞いているよ

一人暮らしの声かけ、安否確認をしている

高齢者世帯の炊事、草刈り支援、お墓清掃協力

回覧板を持参し、時々状況確認

80才以上 自治会費免除 敬告: 廃止所全体への
副催

祭り等、行事情報参加促している
社会福祉協議会: 買い物支援 協力している

もう少しこんなあったらいいな

②もう少しこんなあったらいい

- 鎌野辺りばかりじゃなく庵治の中(宮東辺り)も(買い物など)連れて行って谷文^{病院}しい(交通機関)
- いろいろな所で集まる場所が必要
- 相談出来る人が周りにいる。
- 近所~~で~~手伝いも度を越すと負担になる
- 災害の時の役割りがあると助けやすい
- たてわりで横のつながりが必要
- アンケートを取ってみんなの意見を聞いてみる

(2)もう少しこんなあったらいい

- 外出ができる環境、協力体づくり
- 近隣の若者の情報提供、助けを意識的に持つ
認知症予防や現状把握も可能
- 孤立した生活をなるべく避けよう働きかけ
- 情報が集まる場所、商店やサロンが近くある
- 出てこぶ...人の意見や意向を確認聞いてもらう

第3回庵治地区ネットワーク会議

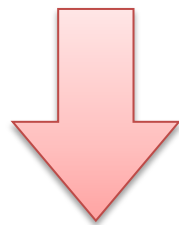
平成28年2月25日

①「わが町こんなことシート」の修正

②アンケート調査についての協議

第2回のグループワークでの意見

「アンケートを取ってみんなの意見を聞いてみる」



住民アンケートでニーズ調査

アンケート内容・実施方法についての検討

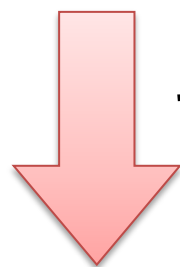
アンケート

対象者	庵治地区の60歳以上の方 600人(無作為抽出)
内容	①介護の状況や介護保険について ②住民参加の地域づくりについて ③外出と介護予防の状況について
実施期間	平成28年4月1日～15日
実施方法	民生委員が自宅に訪問して配付 回収は返信用封筒で
回答数	533(回収率88.8%)

庵治地区ネットワーク会議

平成28年3月10日：第4回ネットワーク会議

①アンケート調査についての説明



アンケート回収・集計



平成28年5月30日：第5回ネットワーク会議

①アンケート調査結果についての報告

②サービス開始に向けての検討

今後について

- アンケート調査結果から
56%の方が
「自宅で最後まで暮らしたい」



- 新しい総合事業
10月から訪問型サービスB
「庵治支援隊」の開始に向けて準備中



ちょっとした お困りごことはありませんか??

そんなときは



庵治支援隊

<支援内容>



ごみ出し



草抜き



買物

決められた時間や場所に捨てに行けないわ...

家廻りの草抜きができなくなって困る...

足も痛くてスーパーまで買物に行けないわ...

【利用できる方】

- 庵治町在住で65歳以上の
- ①要支援1・2の認定を受けた方
- ②基本チェックリストの結果、事業対象者となった方

※お申し込みはケアマネジャーを通していただきます。

【費用】

- 1回100円(60分以内)
- ※1ヶ月5回までご利用いただけます。

ちょっとした困りと、地域の方がお手伝いします。
イ主子慣れた庵治での暮らしを応援します。

お問い合わせはこちら

庵治支援隊 ☎087-870-3426

(高松市庵治町978番地 庵治保健センター内)



香南地区地域福祉ネットワーク会議

安心見守りたい

第5回会議

～住み慣れた自宅で最後まで暮らし続けるために～













・・・今後の取組・・・

地域福祉ネットワーク会議設置地区

- ・地域ニーズの把握・分析
- ・地域包括ケアの理解を深めるためのワークショップ等の開催
- ・生活支援等サービス実施のための体制整備を支援

地域福祉ネットワーク会議未設置地区

- ・地域包括ケアシステムに関する地域説明会の開催
- ・他地区の事例を情報提供
- ・地域福祉ネットワーク会議の立ち上げ支援

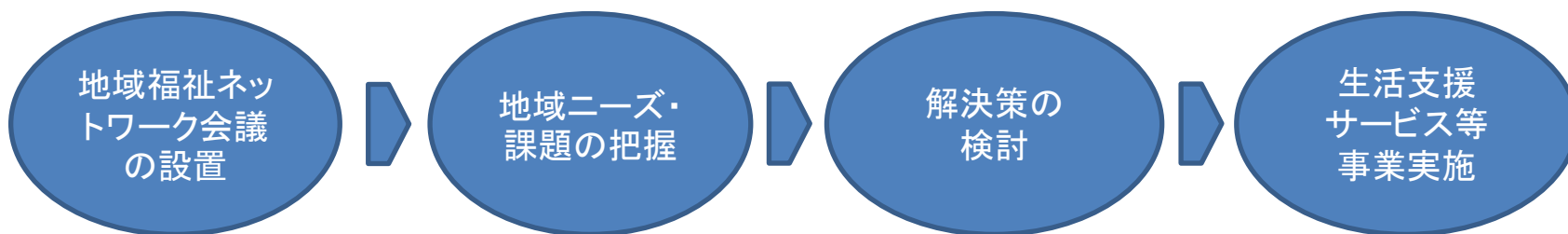
今年度の目標

- ・地域福祉ネットワーク会議を30地区以上で設置

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えた支え合いのまちづくりを目指して

まずは、地域の現状や課題を踏まえながら将来を描く
「地域福祉ネットワーク会議」の設置がスタートとなります

地域の状況に応じ、住民の皆さんの理解をいただきながら、
地域包括ケアシステムの構築を進めていきます



生活支援コーディネーターが地域の皆さん方と共に考え、お手伝いさせていただきます